

ふれあい ハレインボー



平成30年度

発行：校区ふれあいレインボー推進会議
発行日：平成31年3月1日
印刷：久野印刷株式会社

No.32

ふれあいおたのしみ会

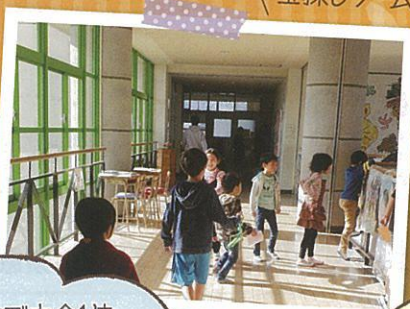
日時：平成30年11月23日（金・祝）

今年も、子ども達の運営で行われる『ふれあいお楽しみ会』が開催されました。役員のお母さん、お父さん方のサポートもあり、スムーズな進行で、みんなが楽しめるように頑張ってくれました。〇×クイズでは、面白い問題がたくさん出て、ビンゴゲームでは小さいお友達に大きな景品が当たったりしてとても盛り上がりしました。

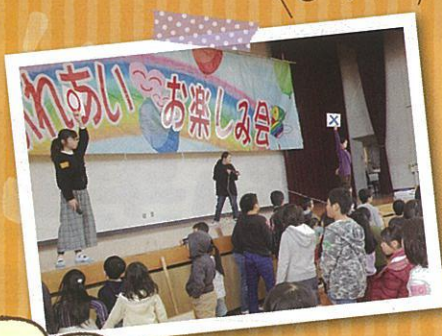
実行委員の皆さん



宝探しゲーム



〇×クイズ



ビンゴ大会1位
おめでとうございます！



おめでとう
ございます！



おもしろいクイズばかりで
楽しかったですね！



平成30年度
ふれあいお楽しみ会
参加人数
231人

新原区 80人

旭ヶ丘区 31人

山の神区 53人

西原区 17人

昭穂区 25人

校区外 12人

恵西区 13人

たくさんのご参加ありがとうございました

子ども110番ウォークラリー

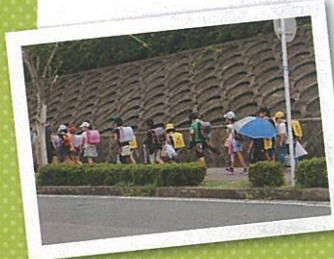
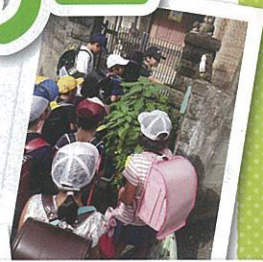
日時:9月14日(金)



ふれあいレインボー
老人クラブ理事
駒山 悦章

朝7時より登校児童の交通見守りに参加、児童への挨拶、元気に挨拶をする児童、挨拶の声が小さい児童、毎日の登校風景もその日によって変化があります。

下校の時間、児童全員と各地区老人会の方々と顔合わせ、「子ども110番の家」を目指して老人会の方々と下校。「子ども110番」のステッカーの家に到着、チャイムを押しお礼の言葉を全員が列になり大きな声で感謝の言葉を述べました。予定の4軒の家を訪問し各自自宅に帰宅を確認、「地域防犯パトロールデー」が交通事故、防犯の予防になる事を願っています。



自転車教室



日時:10月20日(土)



ふれあい3世代子ども自転車教室について

須恵町交通指導員会会長 池田 新市

ふれあいコミュニティによる子ども自転車教室を今年も10月20日に行った。この交通安全教室のねらいは次の通りです。

- 子ども、児童が交通ルールを学ぶ
- 高齢者の事故防止
- 子どもの自転車技術の向上
- 交通指導員の役割の自覚

子ども達の未来を見据えての命に関わる大切な行事と位置付けています。このような安全教室に1回や2回参加したからといってその目的にたどり着くものではないが、重要な事業だと思う。まさしく「継続は力なり」である。参加者の多い少ないに関わらずこの行事を続けて行きたいものです。

この安全教室は社会にはルールがあること、そのルールで社会が動いていることなどを学ぶ場です。子ども達が将来この安全教室の事を思い出しルールの大切さや自転車技術の重要性を自覚してくれることを、切に願います。

みんな無事免許書もらいました

校長先生もはしご乗りに挑戦

踏切は降りて渡ります

自転車教室を終え賞状をもらいました

高齢者の方も真剣に講習を受けています



ふれあいお楽しみ会

日時:11月23日(金・祝)



校区の子どもが、異年齢の子どもの中で社会性を身につけ、楽しく有意義にふれあう場を設ける為、各区では出来ない子ども活動を「ふれあいお楽しみ会」という行事を通し育成会が見守り手助けしながら推進し校区で行いました。

「ふれあいお楽しみ会」では、子どもたち自身が企画・運営をし、活動を行うことで主体性を持たせ、創造性を養い、事業の取り組みへの達成感を育てる事を目的とし開催しています。

なかなか開かないなあ～



ビンゴ
おめでとう!



ふれあいレインボー
育成会会長
池田順子さん



育成会役員の方々
ありがとうございます



ちくまんの参加ありがとうございます



宝は
どこかな～?



中身は
何かな～?



宝ちくまん
みつけれよ!



司会もがんばりました



國廣修
教頭先生



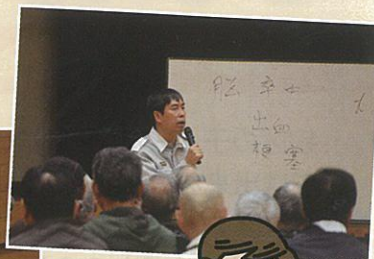
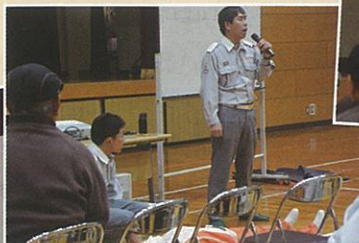
お母さん達もドキドキワクワク



救急救命法講習会

日時:11月25日(日)

今回で2回目を迎えました救急救命講習会、
「少しの知識が命をつなぐ」をテーマに約50名の参加を頂きました。
ありがとうございました。



これからのコミュニティ活動の展望



ふれあいレインボー会長 田子 巧

日ごろからのコミュニティ活動ありがとうございます。

第三校区コミュニティの活動もこれまでの学校と連携した活動(教育のコミュニティ)から地域の人々に対して活動する(暮らしのコミュニティ)への切り替えが前町長の時に示され、現町長になりより具体的なものへと変動して行く為の動きが活性化をして来つつあります。

今のコミュニティ事業は残し、新たなテーマを持った新機軸の組織を作り上げていこうとしています。役場まで行かなくても色々な地域住民の要望を叶えていく組織の構築です。

まだ実際に動きだすのにはもう少し時間が掛かりますが、暮らしに即したコミュニティへの新しい波です。行政の一部および福祉関係の行事に当面は絞られてくると思いますが、校区の事は校区で対応していきける便利な組織構成になってくると思います。皆様のご協力の元、共に須恵町の規範に成りゆくコミュニティを地域みんなで作り上げ、人への思いやりあふれる異体同心の笑顔と元気に満ちた地域にしていきたいと思います。



広報部会 編集後記

厳しい寒さも後半に差し掛かり、春が待ち遠しくなってきました。毎年度1誌発行してきた機関誌を、今年度は皆様のご協力・ご支援のもと、初めて2誌発行することができました。皆様に深く感謝し、今後も邁進して参りたいと思います。

広報委員 野瀬・山崎・西・広沢・木下・衛藤